

名古屋市 公園樹木健全化 なごやプラン

～次世代へつなぐ健全な緑として公園樹木を再生・保全・育成していく～

令和 8 年度から令和 12 年度まで



令和 7 年 10 月
名古屋市

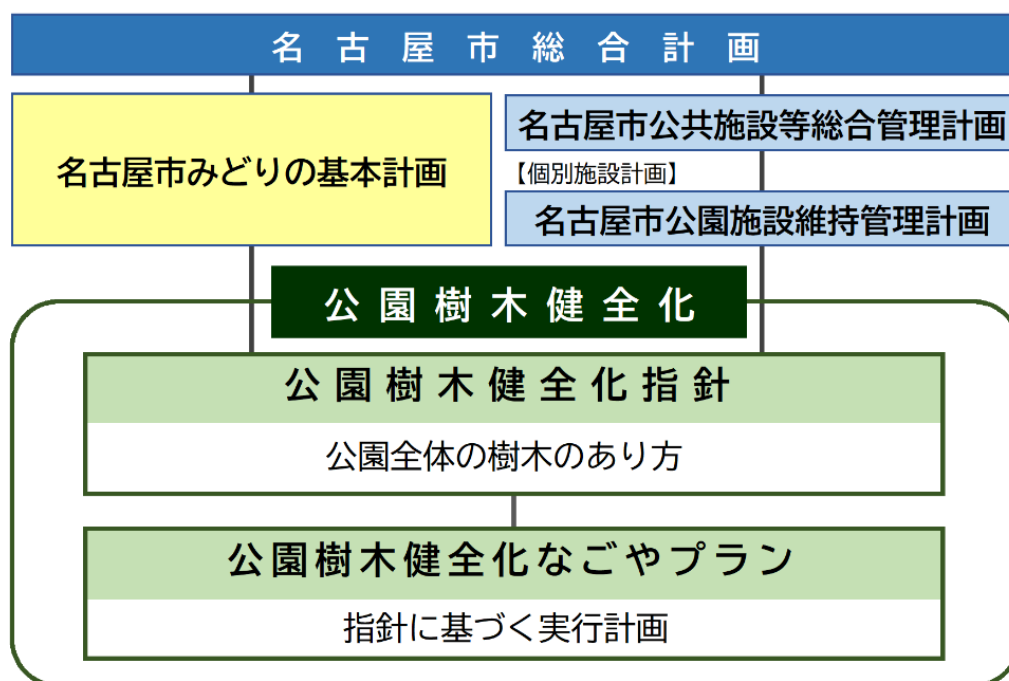
目 次

第1章 はじめに	1
1 目的及び位置付け	1
2 計画期間	2
3 対象公園及び対象の公園樹木	3
第2章 公園樹木健全化なごやプラン	5
1 取組手法とその内容	5
2 想定事業量及び事業費	10
3 事業のフロー	11
4 目指す効果	13
参考資料	15

第1章 はじめに

1 目的及び位置付け

「公園樹木健全化なごやプラン（以下「プラン」という。）」は、「公園樹木健全化指針（以下「指針」という。）」に基づく公園樹木の健全化の実行計画として策定するものです。健全化に向けての具体的な取り組み内容を示すことで、事業の着実な進捗を図ることを目的としています。



2 計画期間

プランの計画期間は、令和8年度から12年度までの5年間とします。本プランは、社会情勢の変化や市民意見等を踏まえ、おおむね5年ごとに見直しを行う予定です。

■プランの計画期間

	令和 8 年度	9	10	11	12	13	14	15	16	17
公園樹木健全化指針	R8～									
公園樹木健全化 なごやプラン	R8～R12					次期プラン				



3 対象公園及び対象の公園樹木

プランでは、名古屋市緑政土木局が管理する都市公園等のうち、街区公園及び近隣公園を対象とします。対象公園は公園全数の約9割です。

また、対象とする公園樹木は、高さ3m以上の樹木（高木）約58,000本です。

プランの対象となる街区公園及び近隣公園のうち、最も多いのは0.10ヘクタール以下の小さな公園で街区公園の3割を占めています。

■対象とする公園数及び高木本数

公園種別	公園数	高木本数	公園種別の説明
街区公園	1,257 公園 (84%)	約 35,400 本	主として街区内に居住する方の利用に供することを目的とする公園で、街区内に居住する方が容易に利用することができるように配置し、その敷地面積は0.25haを標準として定められています。
近隣公園	107 公園 (7%)	約 22,200 本	主として近隣に居住する方の利用に供することを目的とする公園で、近隣に居住する方が容易に利用することができるように配置し、その敷地面積は2haを標準として定められています。
合 計	1,364 公園 (91%)	約 57,600 本	

※公園数は令和7年4月1日現在のもの。

※公園数の下段（ ）内は本市の都市公園数全数1,498公園に対する割合。

■街区公園と近隣公園の面積分布

街区公園			近隣公園		
面 積	公園数	割 合	面 積	公園数	割 合
～0.10ha	371	29%	～1.00ha	8	7%
0.11～0.20ha	327	26%	1.00～1.50ha	43	41%
0.21～0.30ha	302	24%	1.51～2.00ha	36	34%
0.31～0.40ha	122	10%	2.01～2.50ha	4	4%
0.41～0.50ha	46	4%	2.51～3.00ha	8	7%
0.51～1.00ha	89	7%	3.01ha～	8	7%
計	1,257	100%	計	107	100%

街区公園及び近隣公園に植栽されている樹種は、サクラ類、ケヤキ、クスノキ、トウカエデ、イチョウの順に多く、これら5種で全体の約45%を占めています。また、開園から40年以上の公園に生育する樹木は全体の70%となっており、大木化や老木化が進行しています。

■ 街区公園及び近隣公園における樹種別樹木本数

順位	樹 種	本 数
1	サ ク ラ 類	約 7,500 本
2	ケ ヤ キ	約 6,200 本
3	ク ス ノ キ	約 4,800 本
4	ト ウ カ エ デ	約 4,000 本
5	イ チ ョ ウ	約 3,100 本
6	クロガネモチ	約 2,700 本
7	ナンキンハゼ	約 2,300 本
8	シラカシ	約 1,600 本
9	アラカシ	約 1,400 本
10	サルスベリ	約 1,400 本
—	そ の 他	約 22,600 本
	合 計	約 57,600 本

■ 街区公園及び近隣公園における開園年度別樹木本数割合

